

3月23日月曜日、午後2時から中央公民館で第6回の編纂委員会をおこないました。本年度の執筆の進捗状況について情報交換をおこないました。依頼をしている各執筆者としては、情報収集が概ね仕上がってはいるものの、執筆の仕上がりが1か月程押しているというのが現状でした。そこで、編纂委員会では3月に原稿提出予定を4月末に延長することにしました。ただし、令和8年度末までに印刷製本までおこなうスケジュールは変更しないので、原稿執筆は必ず4月末までに提出するという確認しました。

令和8年度は執筆の終わった原稿のチェックを幾度もおこない、完成に近づけていきますが、原稿を提出したからあとはチェックだけというわけにはいかず、製本に関しての細々とした中身の体裁を整えていかなければならないことなどを考えると、やらなければならないことは、まだまだ山のようにありそうです。

町史が刊行した後の令和9年度には、『大崎町史 町制90年』を広く周知するためにも、何かイベントをしてはどうかという提案もありました。具体的な内容はこれからの編纂委員会で協議をしていきたいと思えます。



大崎町史編纂委員会事務局 内村・吉原(大崎町中央公民館1階 社会教育課)
〒899-7305 曾於郡大崎町仮宿1029番地 ☎476-1111 (421・422)

ふるさと納税を活用した事業の紹介 VOL.22

このコーナーでは、全国の方々からいただいたふるさと納税(ふるさと応援基金)を活用した事業について連載で紹介していきます。

スクールバス運行业務委託料

大崎町では、大崎中学校に通学する生徒の交通の利便性を図るため、スクールバスを運行しています。

本事業は、通学距離が長い生徒に対し、安全で安定した通学手段を確保することを目的としています。

これにより、広域から通学する生徒が安心して登下校できる体制を整えています。



令和6年度ふるさと応援基金を活用した金額 3,030万円

